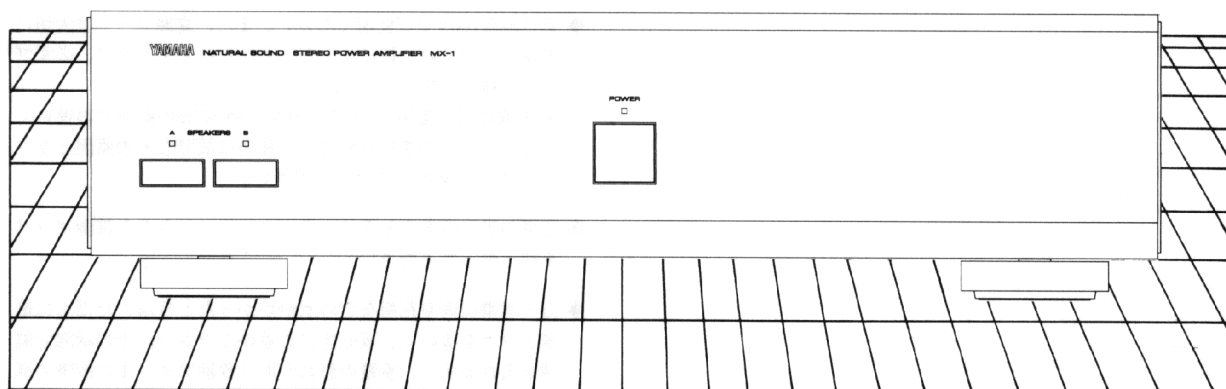


YAMAHA

NATURAL SOUND STEREO POWER AMPLIFIER

MX-1

取扱説明書



このたびは、YAMAHA パワーアンプ MX-1をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

MX-1の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

目次

特長	2
ご使用上の注意	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	4
故障かなと思ったら	5
参考仕様	5
ブロックダイアグラム	6
ヤマハホットラインサービスネットワーク	7

ご使用前に必ずお読みください。

特長

- 定格出力260W+260W(4Ω)及びダイナミックパワー630W+630W(2Ω)など低インピーダンスドライブバリエーションも確保しています。更にHCA回路を採用し、大出力においてもリニアリティを確保しております。また本機は、電源トランスを中央に配し「音が良い」左右完全対称コンストラクションとなっております。
- 高剛性防振シャーシにより、音質を劣化させる不要な振動を排除しています。
- 周波数変化に関係なく常に安定なドライブを約束する、リニアダンピングサーキットを採用しています。

ご使用上の注意

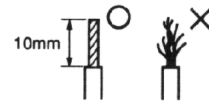
- ◆ 本機を次のような場所へは設置しないでください。
 - 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)は、本機の性能を維持できない場合があります。
 - 湿度の多い場所(湿度90%以上)は、金属部分にサビを生じたり故障の原因となります。
 - ホコリの多い場所は、スイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、本機の性能を維持できない場合があります。
 - その他、トランスやモーターの近くまたは振動の多い場所への設置は誘導ハムをひろう原因となります。
 - 本機は、通気性の良い場所に設置してください。発熱を防げるようなラックなどには入れないでください。
- ◆ ベンジン、シンナー系の液体および化学雑巾の使用や、周囲でのエアゾールタイプの殺虫剤の散布は避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布を使用し、乾拭きしてください。
- ◆ スイッチやツマミ、コードなどに無理に力を加えることは避けてください。
- ◆ 定格電源100Vでご使用ください。また、電源コードは大切に扱いください。特にコンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - * 本機は国内電源AC100V±10V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は故障などの原因となりますので絶対に避けてください。
- ◆ 落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜き取ってください。
- ◆ 万一本機に雨や花瓶などの水がかかったときは、ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。その状態で電源を入れますと、感電の恐れがあり危険です。また故障の原因になりますのでご注意ください。
- ◆ トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。内部に異物が入ったときは、ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。
- ◆ クリックノイズによるスピーカーの破損を防止するため、接続の際は電源スイッチを切ってから行ってください。
- ◆ 放熱を妨げないために、本機の上面通気孔をふさぐような物を置かないでください。
- ◆ 故障かなと思われる場合は、まず5ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。
- ◆ お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありまないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。
- ◆ この取扱説明書はお読みになった後も、保証書とともに大切に保管してください。

ご 注 意

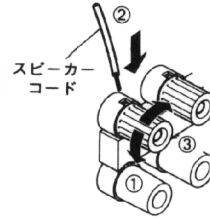
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- 接続する機器によって接続方法や端子名が異なることがあります。接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 接続する際、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、“+” (赤)、“-” (黒)を確認して正しく接続してください。極性(+、-)を間違えて接続した場合、不自然な再生音となることがあります。
- スピーカーコードの接続は、ショートしないように注意して行ってください。
- 接続端子に接点復活剤を塗布することは、避けてください。端子及び周辺の樹脂部分が割れたりすることがあります。接続端子を清掃するときは、無水アルコールで拭いてください。
- 接続が終わったら正しく配線されているか、もう一度お確かめください。

■ スピーカーコードの接続

スピーカーコードの先端の絶縁部を10mm位はがしてください。芯線がバラけてショートしやすいため、手でしっかりよりを掛けます。

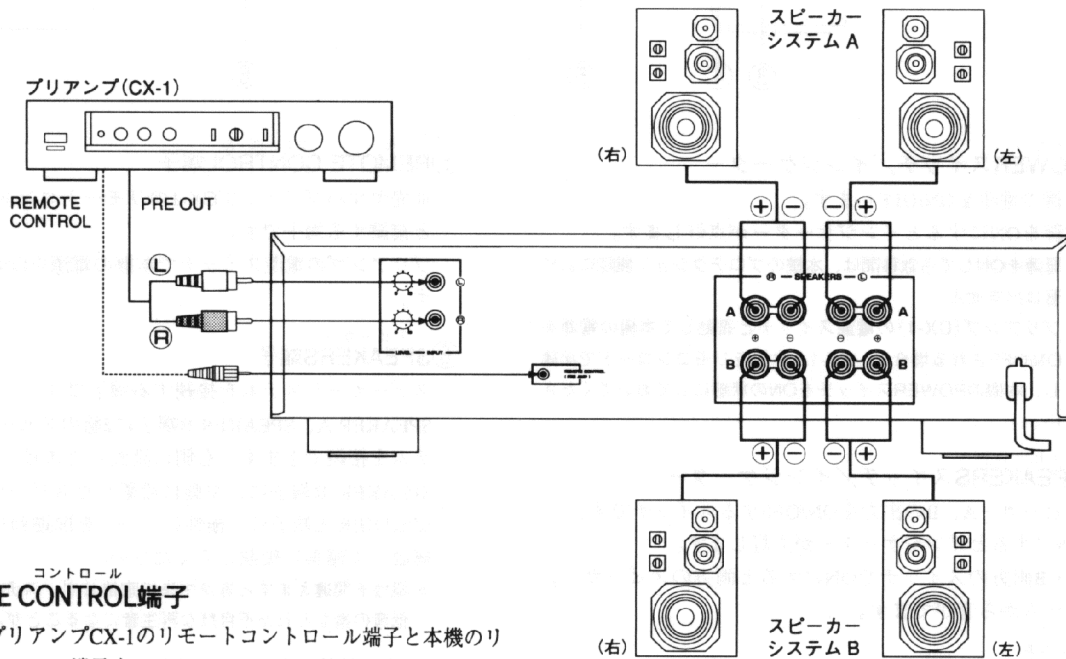
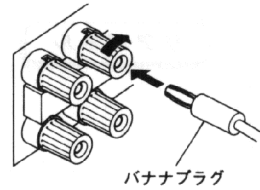


スピーカー端子のツマミを左に回し緩め、スピーカーコードの芯線を端子穴に差し込みスピーカー端子のツマミを右に回して、締め付けます。



※ スピーカーコードの芯線が、他の端子や金属部分に接触しないように差し込んでください。

市販のバナナプラグを使用する場合は、端子を強くしめてから差し込んでください。

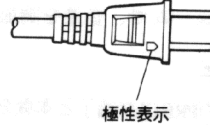


リモートコントロール ■ REMOTE CONTROL 端子

別売ヤマハプリアンプCX-1のリモートコントロール端子と本機のリモートコントロール端子を、リモコンコードで接続します。リモコンコードはCX-1に付属されているコードをお使いください。

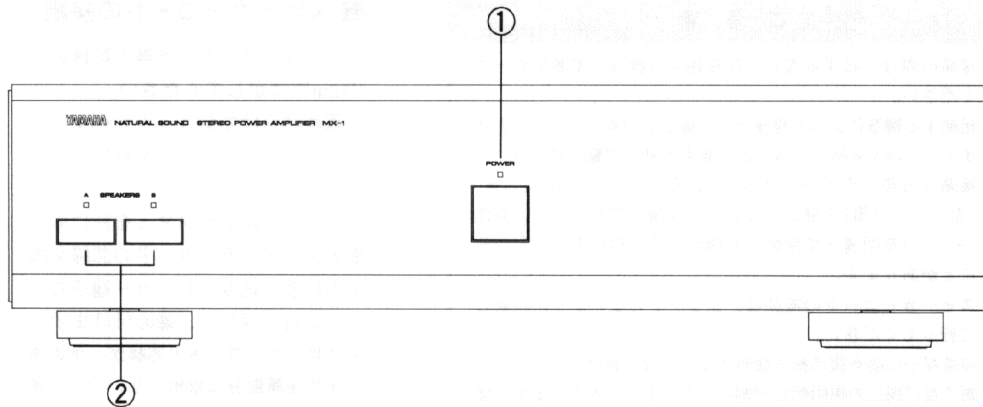
電源プラグ

電源プラグは、接続が完了するまで、コンセントに差し込まないでください。本機の消費電力は450Wです。本機の電源プラグは必ず家庭用AC100V、50/60HzのACコンセントに接続してください。本機の電源プラグには電源トランスの巻始めが極性表示されています。プラグを差し替えて音質が変わるようでしたら、好みの極性でお使いください。

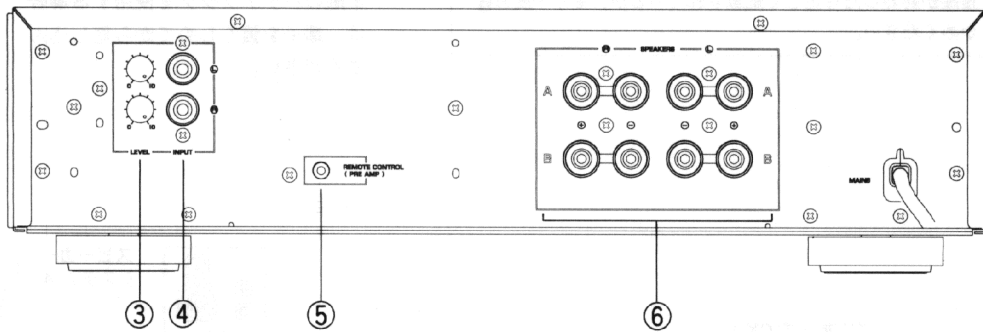


各部の名称とはたらき

フロントパネル



リアパネル



① POWERスイッチ/インジケータ

- 本機の電源をON/OFFします。
電源をONにするとインジケータが点灯します。
- * 電源をONしても数秒間は、本機のプロテクション機能により音は出ません。
 - * プリアンプ(CX-1)の電源スイッチと連動して本機の電源をON/OFFされる場合は、CX-1と本機をリモコンコードで接続し、本機のPOWERスイッチをONの状態にしておいてください。

② SPEAKERSスイッチ/インジケータ

- スピーカーA、Bの出力をON/OFFするスイッチです。
ONにするとインジケータが点灯します。
A・B両方のスイッチをONにすると両方のスピーカーシステムから音がでます。

③ LEVELコントロール

- 入力レベルをコントロールするつまみです。
スピーカーの能率等により音量差が生じた場合、このつまみで調整してください。
通常は最大(10)の位置にしておきます。接続するプリアンプのボリュームで、音量を調節します。

④ INPUT端子

- プリアンプのPRE OUT端子と本機を接続する入力端子です。

⑤ REMOTE CONTROL端子

- 別売ヤマハプリアンプCX-1のリモートコントロール端子と接続する端子です。
プリアンプの電源スイッチで本機の電源をON/OFFできます。

⑥ SPEAKERS端子

- スピーカーシステムを接続する端子です。
SPEAKER A、SPEAKER B端子に2組のスピーカーシステムを接続できます。右側に設置したスピーカーをSPEAKER R端子に、左側に設置したスピーカーをSPEAKER L端子に、極性(+、-)を間違わないように確認して確実に接続してください。
- * 極性を間違えますと音が中央に定位せず、ステレオ感のない低音の損なわれた不自然な再生音になることがあります。

ご 注 意

スピーカーシステムのA、Bを各々単独で使用する場合は、スピーカーのインピーダンスは、4Ω以上のものを、A、B同時使用の場合は各インピーダンスが8Ω以上のものをお使いください。それ以下のインピーダンスのスピーカーを使用しますと、故障の原因となります。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。
 そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、
 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りの
 ヤマハ電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
POWERスイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの接続が不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください
	スピーカーコードがショートしている	電源コードを抜き、スピーカーの接続をやり直して再度電源コードを差し込みます
	CX-1とリモートコントロール接続されている場合、CX-1側の電源が入っていない	CX-1の電源を入れてください
音がでない	LEVELコントロールが絞られている	LEVELコントロールを右に回してください
	接続が不完全	接続を確認してください
	SPEAKERSスイッチがOFFになっている	SPEAKERSスイッチをONにしてください
	プリアンプ側の操作が間違っている	プリアンプのスイッチを正しくセットしてください
	プロテクション回路が動作している	スピーカーコードがショートしていないか確認してください
低音のない不自然な再生音で、音像が定位置しない	スピーカーの極性(+、-)が合っていない	極性(+、-)を合わせて接続しなおしてください
ハム音がでる	ピンプラグコードの接続が不完全	ピンプラグをしっかり差し込み直してください

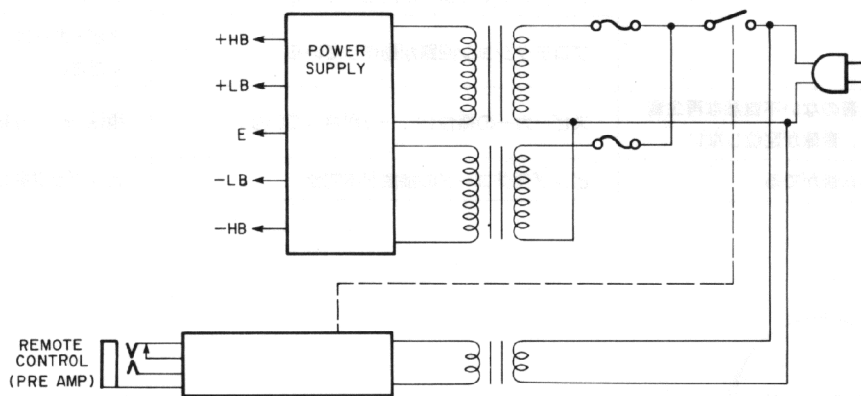
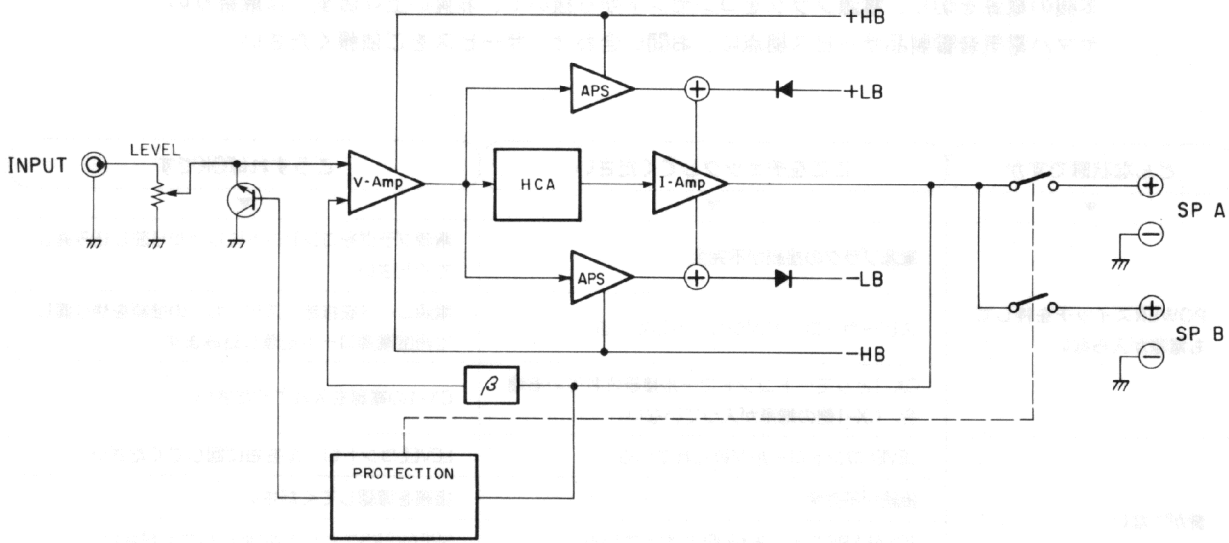
参考仕様

定格出力(20Hz~20kHz)	
0.008%THD、8Ω	200W
0.03%THD、4Ω	260W
ダイナミックパワー	
(IHFダイナミックヘッドルーム測定による)	
8Ω	280W
4Ω	460W
2Ω	630W
パワーバンド幅	
0.03%THD、100W/8Ω	10Hz~60kHz
ダンピングファクター	
SP A、20Hz~20kHz、8Ω	350以上
入力感度/入力インピーダンス	
MAIN IN	1.46V/20kΩ

周波数特性	
20Hz~20kHz	0±0.5dB
S/N(IHF A、入力ショート)	125dB
残留ノイズ(IHF A)	20μV
チャンネルセパレーション	
1kHz	80dB
10kHz	60dB
定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	450W
外形寸法(W×H×D)	438×460×116mm
重量	24kg

* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証の期間は**
お買い上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料**
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代**
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料**
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間は**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 513-5036
仙台	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236-0249
新潟	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL (025) 243-4321
首都圏	〒211	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL (03) 3255-2241
浜松	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-6711
名古屋	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652-2230
大阪	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877-5262
広島	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874-3787
四国	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22-3045
九州	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL (03) 3255-5691 TEL (03) 3255-6767
名古屋	〒460	名古屋市中区錦一丁目18-28 TEL (052) 232-5740
大阪	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本二ツセイビル TEL (06) 647-6411
本社	〒430	浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様相談センター TEL (053) 460-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

TEL (053) 460-3451

品質保証室

TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

